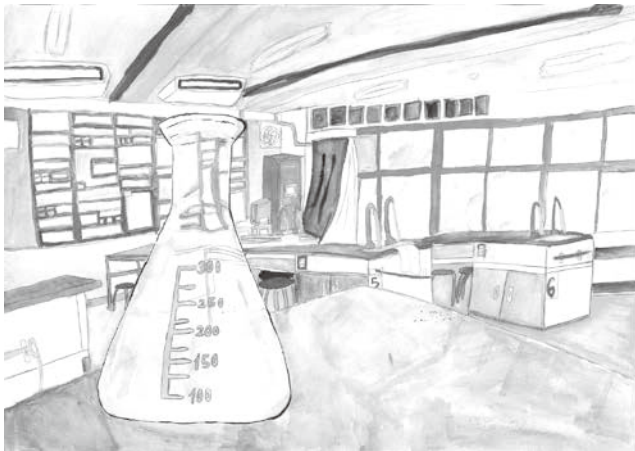


「止まった時間」 6年 <sup>うえのみか</sup> 上野 美果さん

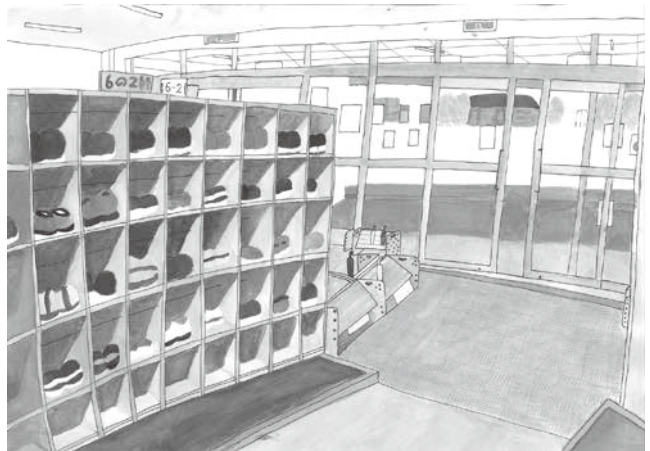


私は、理科の実験が好きなので、実験に使うフラスコを大きく描きました。フラスコの中の少し曲がったりしている部分を意識してみました。他にも、えん筆を少し使ったりして細かいところも工夫しました。

誰もいない静かな理科室で、すべての物が止まっている感じを表現したかったので、この題名にしました。



「毎日通る一つの道」 6年 <sup>いしかわなつみ</sup> 石川 夏未さん



自分の好きな場所を描くとなったとき、一番最初に思い浮かんだ場所が昇降口だったので、6年生だけでなく、1、2年生のときにも毎日通っていた昇降口を描きました。一つひとつのくつや、下駄箱の影をしっかりとつけるために色を少しずつ変えていったり、色の個性を出すために、絵の具で描いた後から色鉛筆で重ねぬりをしたり、工夫をしました。床の一つひとつの細かい模様や天井の少し汚れているところは指でこすって再現しました。



市長コラム  
**「価値ある未来を、共に」**



問合せ

政策室

☎982-5112、FAX981-5392

**金のなまず**

▼「金のなまず」といえば、吉川駅南口のモニユメントが全国的に有名で、吉川市がテレビに取り上げられるときはまずそこから撮影が始まります。けれど、実は吉川市にはもう一つ「金のなまず」があるのを皆さんご存じですか？それは、毎週金曜日の午後0時30分から「こしがやエフエム(FM86・8メガヘルツ)で放送されている吉川市のラジオ番組「金のなまず」です▼平成29年にスタートした「金のなまず」は、公募による市民パーソナリティーの皆さんが、市からのお知らせや市のイベント、お店などの情報を発信してくださって



金のなまずポスター

おり、「今まで知らなかった吉川市のいろいろな事を知ることができると楽しく聞いてます！」などの声が多く寄せられています▼夏休みには各中学校の生徒達がパーソナリティーを

務めてくれたり、コロナ禍による休校時には、小中学校の校長先生方も登場し、メッセージを発信して下さるなど、まさに「市民によるまちづくり」の核となっており、全国の政策が評価される「マニフェスト大賞」では第13回優秀賞を受賞した政策の一つとなりました▼また、吉川市は「こしがやエフエム」と「災害時における放送等に関する協定」も締結しており、いざというときの連携も深めています▼そんな「金のなまず」も先日放送5年目に突入。



パーソナリティーの皆さんと市長

番組制作がますます盛り上がる中、新たにパーソナリティーや企画などで参加して下さる市民の方々を随時募集しています。専門的な知識や経験は全く必要ありません。皆さんも楽しく吉川市のことを発信してみませんか！?